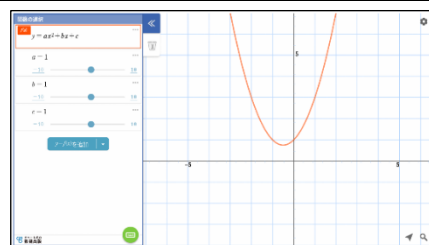


(別紙様式) 令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立津山商業高等学校		
実践者等		中塚 雄祐	実践日	令和4年10月28日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		数学・数学Ⅰ(2次関数とグラフ)		
対象生徒(学年等)		商業科1年		
育成を目指す資質・能力		☐ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☐ 学びに向かう力・人間性等		
分類	授 業 中	☒ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☐ 思考やデータの可視化 ☒ データの共有や共同編集 ☒ 対話を充実させる活用 ☒ 思考を促す活用 ☐ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☒ 効率化や省力化 ☐ その他()		
		家庭学習		
		☐ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☒ 補習・定着		
実践の内容				
【授業】 (1) 2次関数のグラフについて、いわゆる 一般形 $y = ax^2 + bx + c$ と 標準形 $y = a(x - p)^2 + q$ において、 それぞれのパラメータがグラフの形や位置に どのような役割を果たしているかを Chromebook (関数ツール) を利用して考えさせる。 ※関数ツール・・・インターネットに接続して 活用する教科書会社のアプリ ① 個人でワークシートへ記入する。 ② 個人で考えたパラメータの役割をグループ で共有し、Jamboard に班ごとにまとめる。 ③ グループでまとめた内容をクラス全体で 共有する。 (2) 2次関数を標準形で表すことの良さを認識させる とともに、具体的な問題を解くことにより、本時の 内容が理解できているかを、放物線の頂点や軸の 式、平行移動する前の2次関数の式を考えさせるこ とで確認させる。				
【本時と家庭学習との連動】 (本時後) 教科書会社のアプリで2次関数の式から、 放物線の頂点や軸の方程式を求めるドリル 学習に取り組ませ、学習内容の定着を図る。				



2次関数 $y = -(x-5)^2 - 4$ の
 頂点は 点 (,)
 軸は 直線 $x =$

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0